

GEX-PO1DTV 取付説明書

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

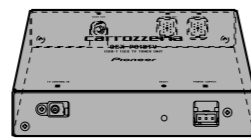
この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2007

< KSKZF > < 07A01001 > < CRA3995-A >

はじめに 1 接続・取り付け部品を確認する

本体・コード関係



本体 × 1



電源コード × 1



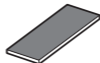
IP-BUSケーブル
(3m) × 1



RCAビデオコード
(黄) (6m) × 1

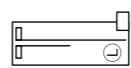


マジックテープ
(かたい方) × 2

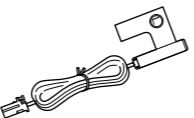


マジックテープ
(やわらかい方) × 2

フィルムアンテナ関係



フィルムアンテナ × 1



アンプ × 1



クリーナークロス × 1



固定用シート × 1



クランプ × 3

確認 1 接続後に動作を確認する

この取付説明書をよくお読みになり、接続・取り付けを行ってください。接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

4 本機の動作を確認する

(※ 取扱説明書)



- 接続する機器によって、映像入力の設定が必要になります。→『お使いの機器の取扱説明書』
- 購入後はじめて本機を使うときは、操作の前にチャンネルスキャンが必要です。→『取扱説明書』

2 車のエンジンをかける



3 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

接続 1 接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障の原因となります。

接続のポイント

IP-BUSケーブルの接続について

- IP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクタの接続部分が色分けされています。）違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

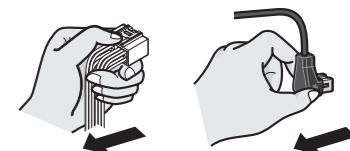
- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体や、ハイダウェイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * ビーコン受信機およびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

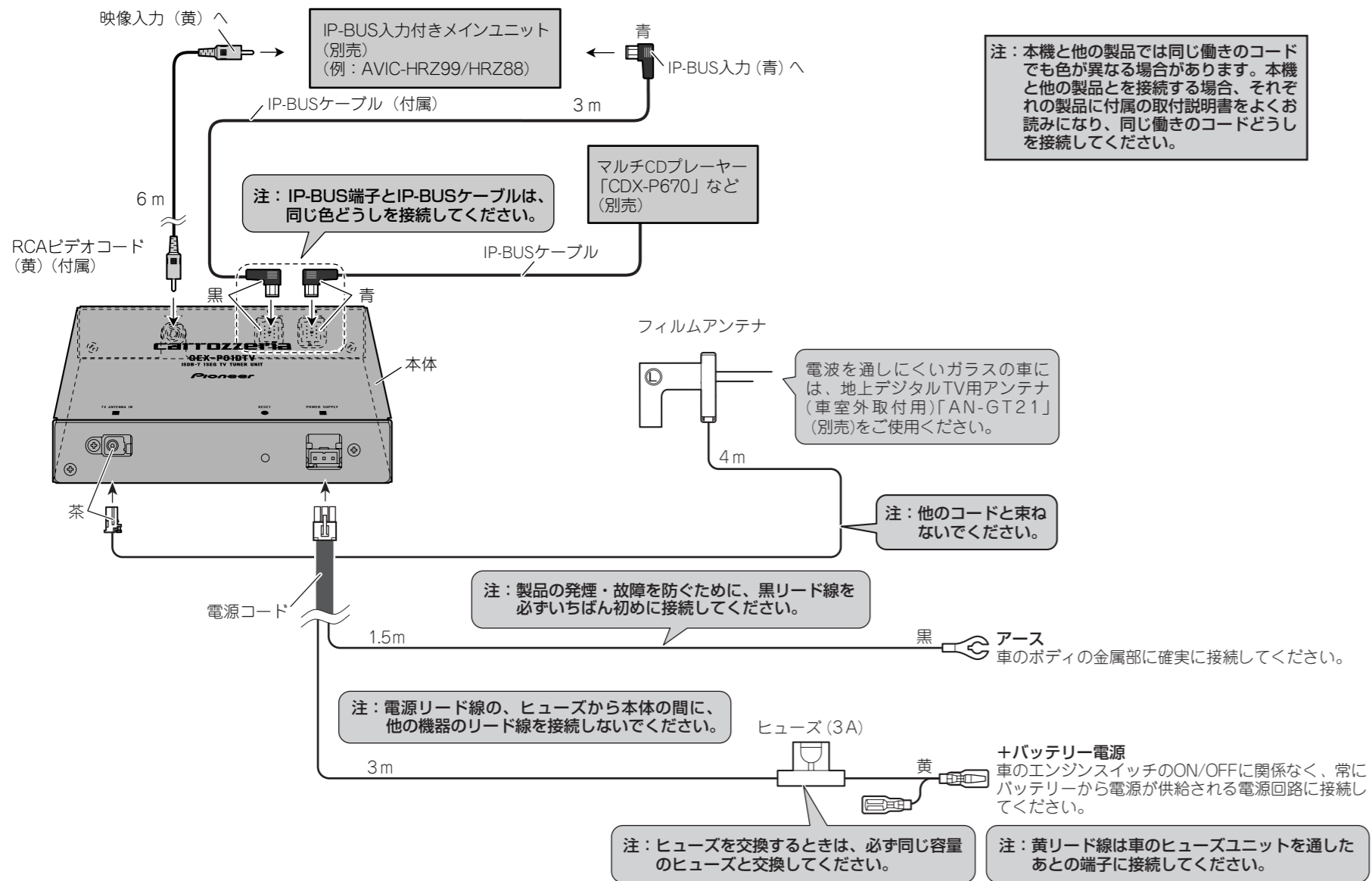
コネクタの着脱のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

システムの接続



注: 本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続する場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - * ダッシュボードやリアトレイの上のように直射日光の当たる場所。
 - * ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。
- フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。
- 平らな面に取り付けてください。平らな面以外に取り付けると、外れたり故障の原因となります。

- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けしてください。スペアタイヤボードやハッチバックのリアトレイなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- 指定の取り付け方法以外で取り付けると性能を十分に発揮できません。また、故障の原因となります。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

- マジックテープや両面テープを貼り付ける場所は、汚れをよく拭きとってください。また、両面テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

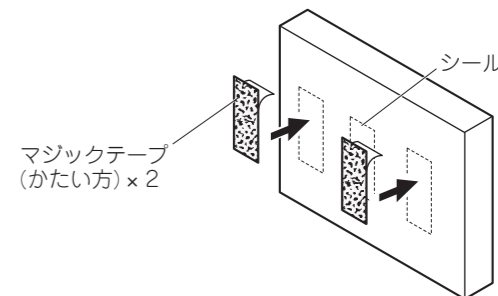
ノイズ防止のために

- フィルムアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。フィルムアンテナは、フィルムアンテナの取り付けの説明に従って正しく取り付けてください。
 - ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体やハイダウエイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * ビーコン受信機およびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしでもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

マジックテープを使用して取り付ける

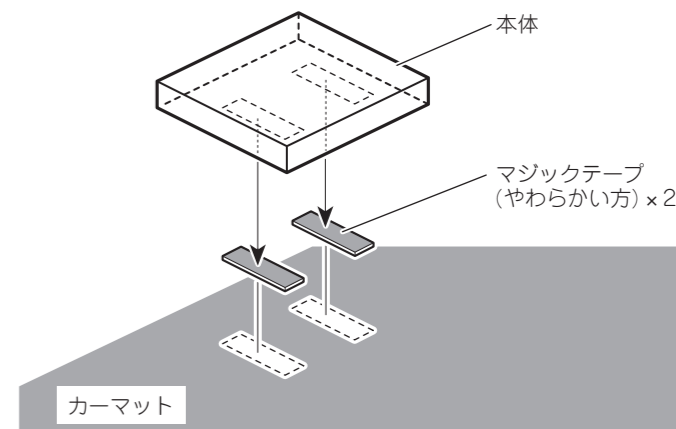
1 マジックテープ (かたい方) を本体の底面に貼り付ける

マジックテープを貼り付ける前に、汚れをよく拭きとってください。



*シールには、製品の型名、シリアル番号が記載されています。マジックテープを貼るときは、シールを隠さないように貼り付けてください。

2 マジックテープ (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付ける



*マジックテープ (かたい方) がカーマットに貼りつく場合は、カーマットに直接取り付けすることもできます。この場合、マジックテープ (やわらかい方) は使用しません。

取り付け上のご注意

- 保安基準^{*}に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
^{*}保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付の運輸省（現、国土交通省）令第95号をいいます。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- アンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には、貼り付けしないでください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透透ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- フロントガラスに縦 50mm × 横 100mm（アンテナを縦向きに貼る場合は、縦 100mm × 横 50mm）のスペースが無い車には、取り付けできません。
- 必ず車内の貼り付け場所に、市販のテープなどでいったんフィルムアンテナとケーブルを仮止めして、エレメントとアンプが貼り付けられることを確認してください。
- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートをはがしたあとは、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。

- ビラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けできません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業場所は、風が無く、空气中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもってしまう場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めておいてください。
- フロントガラスにTVダイバーシティ・FM多重用フィルムアンテナ「AN-FL1」（別売）などをすでに取り付けている場合は、各アンテナから6cm以上離して取り付けます。このため、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

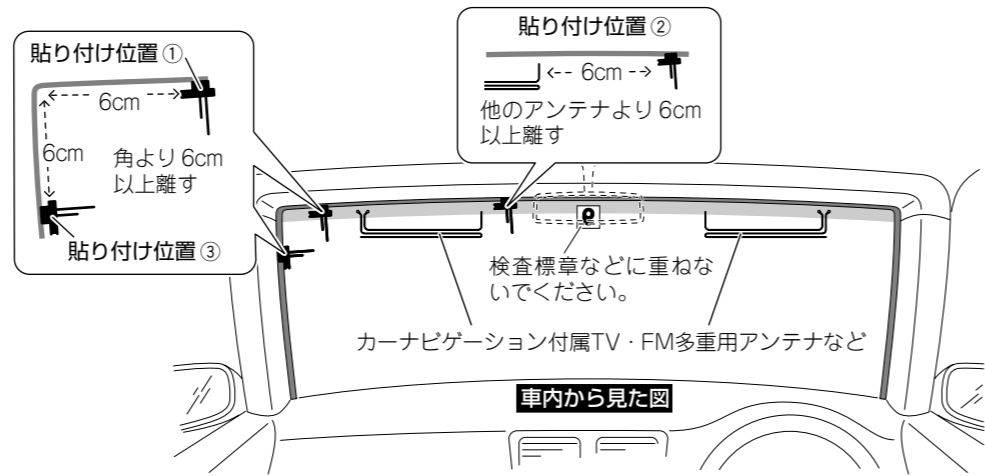
一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。
必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

次のような場所では、映りにくいことがあります

- ビルとビルの間
- 山かげや木立の影
- 上空を飛行機が通過または、電車が近くを通過している場所
- トンネル内や鉄橋
- 送電線の近く
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近く
- 放送局から遠いところ
- ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近く

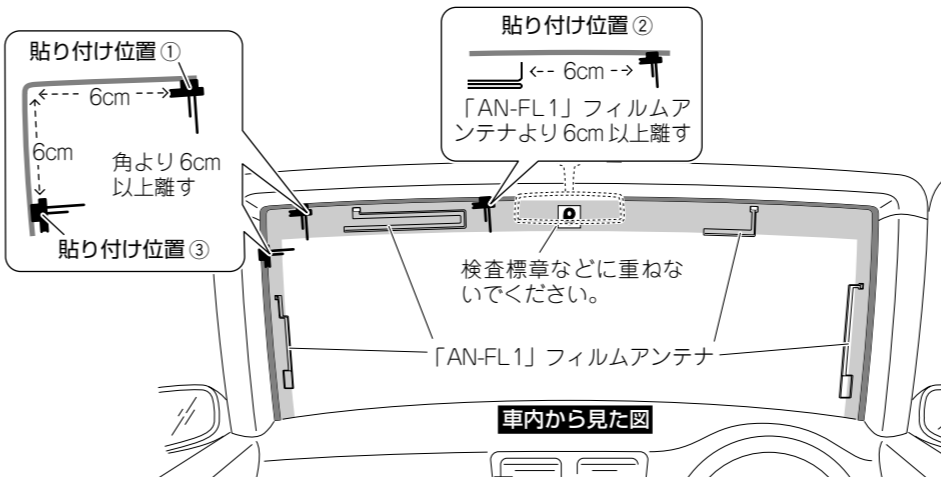
貼り付け位置について

必ずお守りください
運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンプ部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。アース部を車体の金属部に貼り付けてビラーなどの内張りでおさえるため、車体の金属部に届く範囲に貼り付けてください。また、許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなったり、整備不良の対象となります。



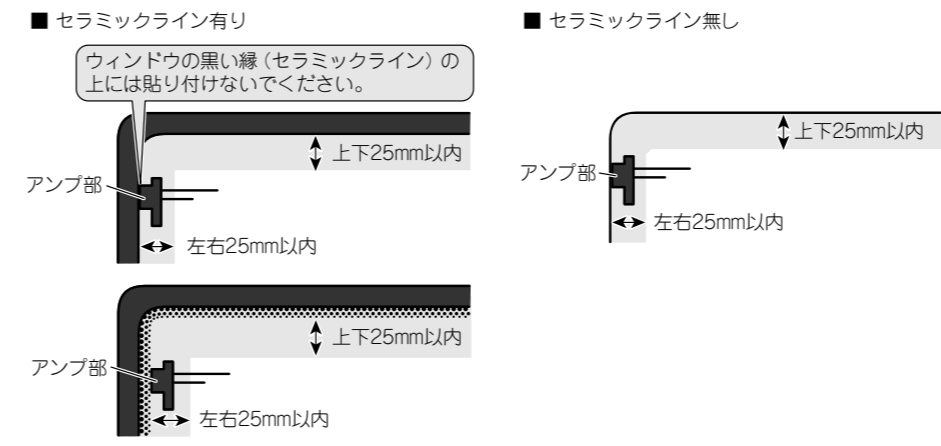
- 貼り付け位置①：フロントガラスの角より6cm以上および、他のアンテナ（カーナビゲーション付属TV・FM多重用アンテナなど）より6cm以上離す。
- 貼り付け位置②：他のアンテナ（カーナビゲーション付属TV・FM多重用アンテナなど）より6cm以上離す。
- 貼り付け位置③：フロントガラスの角より6cm以上離す。

■TVダイバーシティ・FM多重用フィルムアンテナ「AN-FL1」を取り付けている場合
既存のフィルムアンテナの位置を確認して、本機のアンテナの位置を選んでください。



- 貼り付け位置①③：フロントガラスの角より6cm以上および、「AN-FL1」フィルムアンテナより6cm以上離す。
- 貼り付け位置②：「AN-FL1」フィルムアンテナより6cm以上離す。

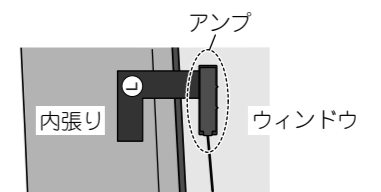
アンプ部の貼付許容範囲



フィルムアンテナを貼り付ける

1 アンプの仮位置を決める

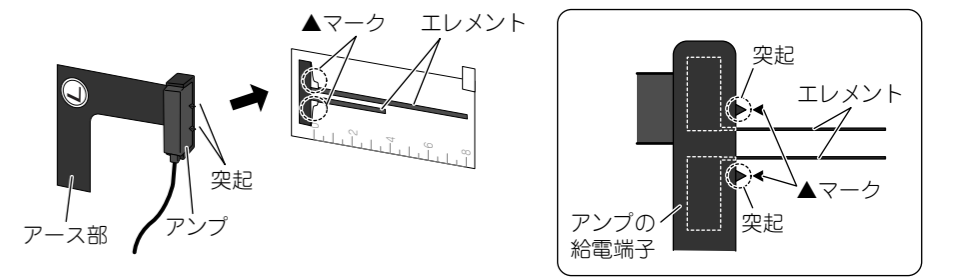
フィルムアンテナの貼り付けの際、車内の内張り（ビラー、ルーライニングなど）にアンプが当たらないように仮位置を決めます。



* 「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決めてください。

2 フィルムの仮位置を決める

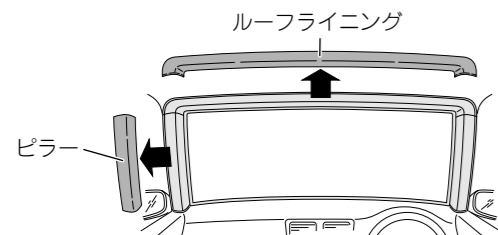
フィルムアンテナの貼り付けの際、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンプの給電端子の突起が合うように仮位置を決めます。



- * 「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決めてください。
- * フィルムのものさし印刷部は、貼り付け位置を決めるときに補助としてお使いください。

フィルムアンテナを貼り付ける

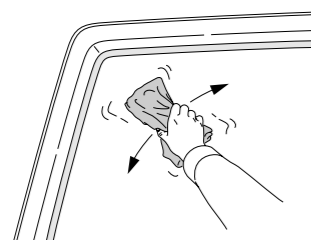
3 車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す



4 ケーブルを引き回す仮位置を決める

5 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



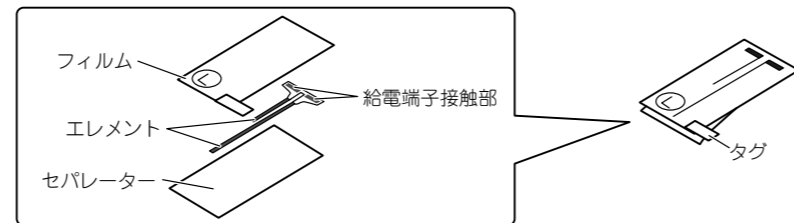
注：クリーナークロスで拭いたあとは、貼り付ける場所およびエレメントには触れないでください。

*アース部を貼り付ける金属部の湿気、ホコリ、汚れ、油なども、取り除いてください。

6 フィルムアンテナを貼り付ける場所を、十分に乾燥させる

7 セパレーターをはがす

エレメントがフィルム側に貼り付いていることを確認しながら、タグを持ってセパレーターをゆっくりはがします。



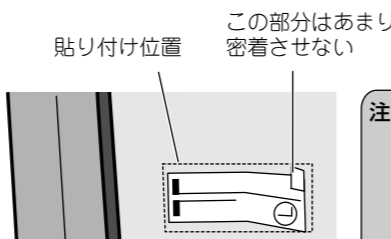
- *セパレーターを急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。
- *セパレーターをはがしたあとは、エレメントに触れたりものを当てたりしないでください。
- *エレメントがセパレーター側に貼り付く場合は、セパレーターを元に戻してフィルム側に貼り付くように強くこすり、もう一度はがしてください。

メモ

- 取り付け例としてセラミックライン有りの車で説明しています。詳しくは「アンプ部の貼付許容範囲」を参照してください。

8 フィルムをフロントウィンドウに貼り付ける

ガラス面の貼り付け位置にフィルムを合わせ、エレメント部分に空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。また、一度貼り付けたアンテナをはがしたり位置を変えたりすることはできません。

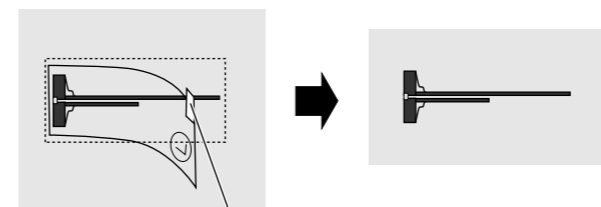


注：汚れ、油膜、水分がガラス面に残っている場合、エレメントがガラス面にうまく貼り付かず、フィルムをはがす際に、エレメントが断線することがあります。十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからエレメントを貼り付けてください。

*貼り付け後は、フィルムの上からエレメントを強く押さえてガラス面に密着させてください。

9 フィルムをはがす

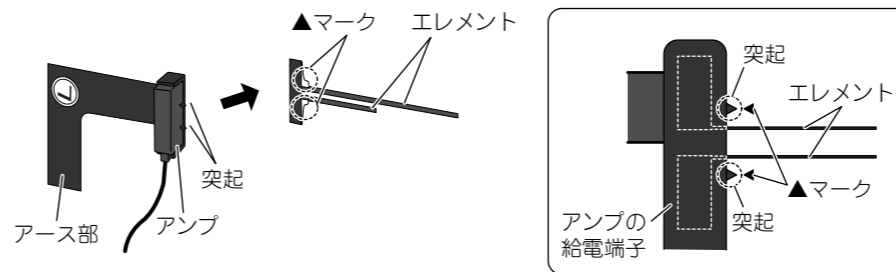
エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグを持ってフィルムをゆっくりはがします。



- *エレメントがフィルムと一緒にはがれる場合は、フィルムを元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。

10 アンプをエレメントに貼り付ける

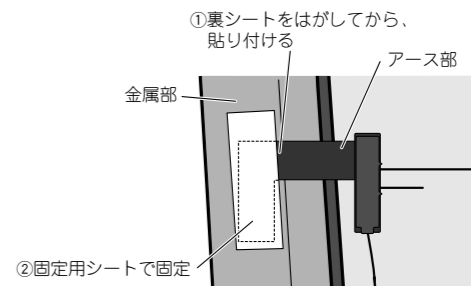
アンプの裏シートをはがして、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンプの給電端子の突起を合わせるように貼り付けます。



注：コードを引っ張った状態で貼り付けしないでください。

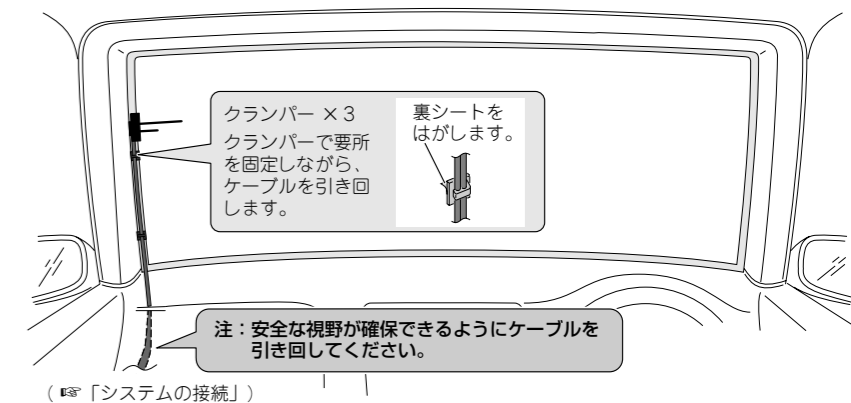
11 アース部を車の金属部に貼り付ける

アース部の裏シートをはがして、ピラーの金属部へ貼り付けます。貼り付けたアース部を付属の固定シートで固定します。



- *裏シートが無い部分が浮き上がらないように、貼り付けてください。

12 ケーブルを引き回す



注：安全な視野が確保できるようにケーブルを引き回してください。

13 内張りを元に戻す

注：アンプのケーブル根元に負荷がかからないように注意してください。